

君はどうして関学に来たの？

関学に入学した理由はいくつかに分けられるだろう。
「このプログラムをどうしてもやりたくて」という人もいるけど
「推薦入試枠に入ったから」「偏差値から」
「国立に受からなくて仕方なく」という人も。

今はどんな思いで関学に通っていますか。
良かれ悪しかれ、入学の時の気持ちは薄れ
漠然と通っている人も多いかもね。
「大学やめようかな」とか
「他所の大学に移ろうかな」
なんて思っている人もいるかも知れない。

中に居ると気づきにくいけど、
関学は日本で指折りの素晴らしい大学です。
それは、建学の精神、
学びの哲学があるからです。

私は某国立大学に学部から博士課程まで在籍したが、
そんなものを聞いた覚えも無い。

では、それがあることがなぜ素晴らしいのか。

私の専門は国際協力です。
その国際協力の世界では
「吾もよし他人もよし」
という考え方があります。

相手のために自分のできることをやり
相手の笑顔を自分の喜びとする。

これは国際協力の世界だけの話ではないでしょう。
ビジネスでも同じ。
自分が顧客に提供できる商品、サービスなどで
顧客のニーズを満たして対価を得るが、
お金だけではなく顧客の笑顔を喜びとするのです。

さて、今のあなたは何を提供できますか。

価値あるものを提供できるようになるには
自分にそれだけの力が要りますね。

関学で学ぶのは
このベースとなる「他者のために」という精神と
知識や技術の「力」です。
それらが“Mastery for Service”という
スクールモットーに集約されています。

必ず「関学で良かった」と思う日が来ます。
「もっと勉強しておけばよかった・・・」
と後悔しないように
今を大切にしてくださいね。

關谷武司（国際学部教授）